令和７年６月吉日

令和７年度　夏季研修会の御案内

岐阜県立岐阜聾学校
きこえとことばの支援センター

日頃は当校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、当センターでは、県内の聴覚障がいを有する幼児児童生徒を取り巻く方々のニーズに応じて、支援相談や研修会等を行っています。
ついては、センター的機能充実事業の一環として、みだしの研修会を下記のとおり開催します。ぜひ御参加いただきますよう、ご案内します。

記

１　日　時　　令和７年８月２２日（金）　１３：００～１６：００

２　会　場　　岐阜県立岐阜聾学校　体育館
岐阜県立飛騨特別支援学校　多目的室（サテライト会場）
※オンラインでの参加も可能

３　講　師・演　題
講師　　同志社大学　免許資格課程センター
教授　　中瀬　浩一　氏

演題　　「きこえない・きこえにくい子どものセルフアドボカシーの力を育むために考えておくこと」

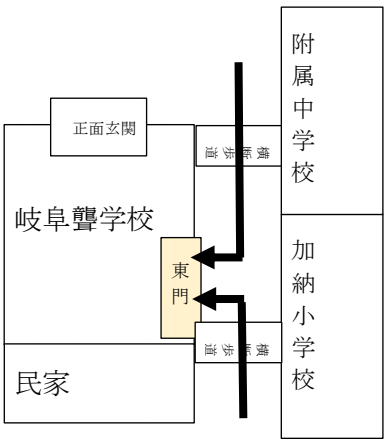
４　参加対象者　保護者、東海地区聴覚障がい関係諸機関職員

５　参加申込　　二次元コード又は URL からお申し込みください。
（締切７月３０日（水）23：45 まで）

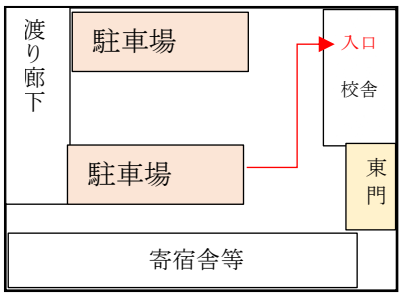
https://forms.office.com/r/kpkyVAq9w7

６　その他
・オンラインでの配信は「Webex Meetings」を利用します。使用される機器に準備をお願いします。参加に必要なミーティング番号は、後日お知らせします。
・当校に自家用車でお越しの場合は、東門から案内に従って駐車してください。

（近隣地図）



（敷地内地図）※一部抜粋



○「講師紹介」

講師　同志社大学　免許資格課程センター
教授　中瀬　浩一　氏

○「講師プロフィール」

1986 年より愛知県立千種聾学校、大阪市立聾学校教諭、筑波技術短期大学専任講師などを歴任。2015 年より現在まで同志社大学免許資格課程センターにて教授として教鞭をとられているとともに、複数の大学で非常勤講師としても勤務されている。視線行動に着目した授業分析や授業力向上をテーマにした研究をはじめ、さまざまな研究や執筆活動に積極的に取り組まれるだけではなく、京都府立聾学校、大阪府立中央聴覚支援学校にて運営協議会会長、奈良県立ろう学校にて副会長を務められ、日本教育オーディオロジー研究協議会代表理事、ろう教育科学会編集委員を委任されるなど、多岐にわたり活躍されている。

〈主な著書・論文〉

「ワイヤレス補聴援助システムを使った雑音負荷時のことばのききとり評価法-近畿地区聾学校における実施状況と課題-」
「アイトラッキングを活用したろう学校教員の授業中の視線行動の 検討」
「聾学校における熟練ろう教員の授業に対する若手・中堅ろう教員による分析-特にろう教員に特徴的な動作や視線等に対する気付きを中心に-」
「視線配布分析と授業省察を活用したろう学校若手教員の授業力向上に関する縦断的研究」

○講演要旨

昨今よく耳にする「セルフアドボカシー」について、特に、きこえない・きこえにくい子どもを中心にして考えてみます。セルフアドボカシーは、合理的配慮とも密接につながっています。子どもたちにその力を育むために、何をすべきかを考えるきっかけになるような話題を提供していきたいと思っています。

岐阜県立岐阜聾学校
〒500-8488　岐阜市加納西丸町 1-74
TEL　058-271-3700
FAX　058-271-3705
E メール　c27361@gifu-net.ed.jp
担当：多和田　葦

岐阜県立飛騨特別支援学校
〒506-0058　高山市山田町 831-44
TEL　0577-34-7122
FAX　0577-34-6813
E メール　c27375@gifu-net.ed.jp
担当：河原　厚子